

# 都市建設部

## 令和5年度 重点目標

- 1 賑わいと交流のまちづくりに向けた道路網の整備・促進
- 2 インフラ施設の長寿命化と防災・減災の推進
- 3 安全で快適な都市環境の整備
- 4 交通まちづくりの推進と公共交通の維持確保
- 5 緑豊かな健幸都市空間の創出

令和5年度 重点目標管理シート

重点目標	賑わいと交流のまちづくりに向けた道路網の整備・促進		部局名	都市建設部	優先順位	1位
総合計画における位置付け	第2編 自然・生活環境 安心・安全な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第1節 賑わいと交流のまちづくりに向けた道路網の整備・促進		上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	5 DXやGX等の革新的技術でSDGsを推進、人と自然が調和した活力あるまちをつくる		
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 ウ 市民への説明責任を果たす的確かつ積極的な情報発信 エ 広域連携の推進					
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外の交流を円滑に進めるための道路網は、住民生活や経済社会活動を支える最も基本的な社会資本です。</li> <li>・幹線道路網の交通混雑の緩和を図り、救急・防災機能を高めるため、また、観光を含めた産業振興やまちづくりの面からも、強固な交通体系の整備が急務となっています。</li> <li>・このため、国道18号上田バイパス第二期工区を含めた都市環状道路とそれを補完する市道及び上田駅へのアクセス道路等の整備を促進する必要があります。</li> </ul>					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上田地域定住自立圏構想及び上田地域30分(サンマル)交通圏確立のための道路整備路線を柱に、幹線道路網の整備を促進することにより、渋滞緩和や安全確保が図れます。また、災害時の緊急輸送道路や生活道路としての活用が図れます。</li> <li>・主要地方道長野上田線及び主要地方道上田丸子線を通じた千曲川左岸地域からの中心市街地へのアクセスの向上と、沿線の歩行者等の安全の確保と交通渋滞の緩和を図ります。</li> <li>・幅員1.8m以上4m未満の狭あい道路について中心標を設置することで道路後退線が明確になり、建築物の建替えに合わせて狭あい道路解消が図られます。</li> </ul>		該当するSDGsの目標	   		
取組項目及び方法・手段(何をどのように)	期間・期限(いつ・いつまでに)	数値目標(どの水準まで)	中間報告(目標に対する進捗状況・進捗度)及び(中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点)		期末報告(目標に対する達成状況・達成度)	
① ○ 上田定住自立圏構想等に位置付けられた広域幹線道路(長野県実施事業)の整備促進 (1) 主要地方道長野上田線(北天神町古吉町線) 主要地方道上田丸子線(北天神町古吉町線) (2) 国道144号上野バイパス (3) 主要地方道小諸上田線(町吉田~中吉田) (4) 上信自動車道、上田諏訪連絡道路 (5) 国道143号青木峠バイパス(トンネル化) (6) 主要地方道別所丸子線鈴子バイパス (7) 上田丸子トンネル	(1) 4月~3月 (2) 4月~3月 (3) 4月~3月 (4) 4月~3月 (5) 4月~3月 (6) 4月~3月 (7) 4月~3月	県と協力し事業の進捗を図る。 (1) 御所工区完成、赤坂交差点先線(川辺町工区)の計画策定・都市計画変更 (2) II期工区の事業進捗 III期工区の詳細設計・調査の実施 (3) 東御市境付近の計画検討と地元定着、関係機関協議 (4) [上信]峠部の計画策定、事業化への取組 [上田諏訪]高規格道路指定への要望活動等の実施 (5) 事業進捗、現道の交通安全対策検討 (6) 計画の地元定着、用地調査の実施 (7) 事業化に向けた研究	(1) 御所工区：拡幅及び無電柱化工事の実施 川辺町工区：都市計画変更の手続きに着手 (2) II期工区は工事実施中。III期工区は地元と合意し地質調査を実施中 (3) 旧道処理について、県・東御市・上田市で協議中。 (4) [上信]7月 期成同盟会総会開催済 ・群馬県境峠部ルートの方針が示され、今後国及び両県での検討会が開催される予定 また、県国との協議により、国土交通省内で第2回検討会が開催される予定 [上田諏訪]6月 期成同盟会総会開催済 9月 長野国道事務所に要望実施 ・長野県において地域の現況や整備による効果等の検討が開始された (5) [青木峠バイパス] 地元とルート合意し、用地測量実施予定 [現道交通安全対策] 県において道路の現状、交通量等の状況調査を実施予定 (6) 対策委員会とルート協議を実施中 (7) 事業化に向けたプロセス等について検討中		(1) 御所工区：拡幅及び無電柱化工事の実施中 川辺町工区：都市計画変更の手続き完了(11/27) (2) II期工区は工事を実施。III期工区は地元と合意し地質調査(ボーリング)を実施中 (3) 旧道処理について、三者で合意済、地元説明会開催済 (4) [上信]7月に期成同盟会総会開催済 11月に群馬県要望、12月に中央要望、長野県要望を実施 [上田諏訪]6月に期成同盟会総会開催済 9月に長野国道事務所に要望実施 ・長野県により、松本佐久連絡道路も含めた地域の現況や整備による効果等の検討を開始 (5) [青木峠バイパス] 地元とルート合意し、用地測量実施済 [現道交通安全対策] 県において道路の現状、交通量等の状況調査を実施済 (6) 対策委員会とルート協議済、設計協議を開始 (7) 事業化に向けたプロセス等について検討中	
② ○ 上田地域30分(サンマル)交通圏構想実現に向けた幹線市道の整備推進 (1) 市道踏入大屋線 (2) 市道上田橋下堀線	(1) 4月~3月 (2) 4月~3月	(1) 工事L=90m (進捗率 470/850m 55%) 橋梁上部工(R4~R6) L=103.6m、W=12.8m 桁架設 (2) 工事L=260m (進捗率260/260m 100%)	(1) ・工事L=90m一部発注済み ・橋梁上部工 施工中 (2) ・工事L=260m 施工中		(1) 工事L=130m 施工中(360/850m 進捗率 42%) 橋梁上部工 施工中 (2) 工事L=260m 完了(260/260m 進捗率 100%)	
③ ○ 上田バイパス第二期工区の整備促進 (1) 用地買収・工事(橋梁等)	(1) 4月~3月	(1) 国土交通省長野国道事務所です事業中であり、事業進捗に連携して協力します。	(1) ・整備促進を図るため、同バイパス対策委員会・連絡協議会を7月に開催 ・バイパス関連工事(国分地区改良2工事)の着手に向け5月に上沖地区対策委員会への工事説明会を開催し、工事施工中 ・関係占有企業者との連絡調整及び調整会議への参加		(1) ・整備促進を図るため、同バイパス対策委員会・連絡協議会を7月、2月に開催 ・関連工事(国分地区改良2工事)の着手に向け5月に上沖地区対策委員会への工事説明会を開催し、3月に工事完了 ・関係占有企業者との連絡調整及び3回の調整会議への参加	
④ ○ 産業振興や住みやすい環境づくりに寄与する道路整備の推進 (1) 市道下吉田久保林線(国道18号上田BP関連) (2) 市道中野小泉線バイパス(小泉2号線) (3) 富士山運動公園線ほか (4) 狭あい道路の中心標設置 (5) 市道金井線	(1) 4月~3月 (2) 4月~3月 (3) 4月~3月 (4) 4月~3月 (5) 4月~3月	(1) 工事L=100m(水路改修) (進捗率(完成形) 120/450m 27%) 補償1件(進捗率 8/8件 100%) (2) 工事L=120m バイパス区間(車道)開通 (進捗率1,400/1,400m100%) (3) 舗装工事L=760 (進捗率1,460/2,500m58%) (4) 設置 25箇所 (5) 委託 N=2件 (進捗率2/2 100%)	(1) ・工事(ブロック積擁壁)1件発注済 ・工事(水路改修)は現工事の施工状況を見据えながら発注に向け準備中 ・補償1件(戦没者慰霊碑)は移設方法協議中 (2) 工事L=120m契約済、施工中 (3) 舗装工事L=730m契約済、施工中 (4) 狭あい道路の中心標設置 17箇所 (5) 委託(2件) 発注済 ・歩道橋撤去設計業務委託、・補償算定業務委託		(1) ・工事(ブロック積擁壁) 1件 完了 ・工事(水路改修)は発注に向け水管理者と協議中 ・補償1件は移設方法について協議中 (2) 工事L=120m施工中(1,280/1,400m 進捗率 91%) (3) 工事L=760m完了(1,460/2,500m 進捗率 58%) (4) 狭あい道路の中心標設置 44箇所(143標) (5) 委託(3件) 発注済 ・歩道橋撤去設計業務委託、 ・補償算定業務委託、用地測量業務委託	
○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題			

重点目標	インフラ施設の長寿命化と防災・減災の推進			部局名	都市建設部	優先順位	2位	
総合計画における位置付け	第2編 自然・生活環境 安心・安全な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第1節 賑わいと交流のまちづくりに向けた道路網の整備・促進			上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	5 DXやGX等の革新的技術でSDGsを推進、人と自然が調和した活力あるまちをつくる			
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 ウ 市民への説明責任を果たす的確かつ積極的な情報発信 エ 広域連携の推進						
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道は、老朽化が進み、更新・修繕が必要とする橋梁および舗装が増加の一途を辿っており、この対策が急務です。</li> <li>平成22年8月の矢出沢川流域の豪雨災害に対し、県が平成23年3月に策定した上小圏域河川整備計画(矢出沢川)を基本に河川改修工事を進めており、早期完成を図る必要があります。また、市街地中心部での豪雨災害が頻発しており、雨水流入の抑制を含めた総合的な治水対策に取り組む必要があります。</li> <li>交通量の多い通学路の歩道整備や安全確保に向けた道路整備と合わせ国庫補助事業の制度に基づき、地域の貴重な観光資源である千曲川等の河川を活用した魅力創出のための河川空間の整備事業、治水対策を目的とした河川事業整備事業による安全・安心なまちづくりを推進する必要があります。</li> <li>地震による建築物の倒壊の被害から、市民の生命、財産等を保護し、その生活環境の保全を図るため、既存建築物の耐震化を促進するとともに、狭あい道路の解消を促し、災害に強い安心して住めるまちづくりを進めていく必要があります。</li> <li>交通量の多い通学路の歩道整備や安全確保に向けた道路整備と合わせ国庫補助事業の制度に基づき、地域の貴重な観光資源である千曲川等の河川を活用した魅力創出のための河川空間の整備事業、治水対策を目的とした河川事業整備事業による安全・安心なまちづくりを推進する必要があります。</li> </ul>							
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>橋梁の更新時期を出来るだけ平準化する方法として、計画的かつ適切な維持修繕により橋梁の長寿命化を図ると共に、老朽化した舗装・トンネルの修繕工事を行います。また、令和元年度から2巡目の橋梁の定期点検を行っています。</li> <li>上田市街地の豪雨災害を抑制し、地域住民の安全・安心な暮らしを守ります。</li> <li>道路や歩道、河川の整備により、歩行者の安全確保や内水対策と水辺環境整備の充実が図られます。</li> <li>昭和56年5月31日以前の建築物で大地震により倒壊のおそれのある既存建築物の耐震化が図られます。</li> </ul>			該当するSDGsの目標				
取組項目及び方法・手段(何をどのように)		期間・期限(いつ・いつまでに)	数値目標(どの水準まで)	中間報告(目標に対する進捗状況・進捗度)及び(中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点)		期末報告(目標に対する達成状況・達成度)		
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 老朽化した道路構造物の長寿命化の推進</li> <li>(1) 橋梁長寿命化の推進</li> </ul>	(1) 4月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 【橋梁修繕・点検】</li> <li>・上田地域 工事 9箇所 委託 10箇所 橋梁自主点検 109橋点検</li> <li>・丸子地域 委託 2箇所</li> <li>・真田地域 工事 1箇所 委託 1箇所</li> <li>・武石地域 工事 1箇所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 【橋梁修繕・点検】</li> <li>・上田地域 工事 施工中2箇所 設計中2箇所 ほか調整中 委託 設計完了6箇所 契約済8箇所 自主点検 点検準備中</li> <li>・丸子地域 委託 契約済1箇所 調整中1箇所</li> <li>・真田地域 工事 施工中1箇所 委託 調整中1箇所</li> <li>・武石地域 工事 施工中1箇所</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 【橋梁修繕・点検】</li> <li>・上田地域 工事 1箇所完了 3箇所契約済 5箇所次年度以降 委託 14箇所完了 自主点検 117箇所実施</li> <li>・丸子地域 委託 1箇所完了 1箇所次年度以降</li> <li>・真田地域 工事 1箇所完了 委託 1箇所次年度以降</li> <li>・武石地域 工事 2箇所完了</li> </ul>		
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上田市街地ほかの防災・減災対策</li> <li>(1) 神科台排水路整備</li> <li>(2) 城下地区排水対策事業</li> <li>(3) [県]矢出沢川整備事業</li> <li>(4) [国]千曲川国分地区築堤整備事業</li> <li>(5) 民間建築物の耐震化</li> </ul>	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月 (4) 4月～3月 (5) 4月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 工事 L=44m 事業完了</li> <li>(2) 御所沢調整池 物件調査詳細設計・用地取得実施</li> <li>(3) 常盤城工区の早期完成、上流部の治水計画検討</li> <li>(4) 千曲川河川事務所と連携し、早期完成に向け協力します。</li> <li>(5) 耐震診断 木造住宅27戸 耐震補強工事等 10戸</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 工事L=44m 施工中</li> <li>(2) 測量設計調査業務委託契約済、実施中 用地取得、準備中</li> <li>(3) 下流工区工事実施中、上流工区は治水計画委託中 「信濃川水系上小圏域河川整備計画」に掲載予定</li> <li>(4) 千曲川河川事務所において築堤工事及び樋門 工事を発注済み 9月計画説明会開催済</li> <li>(5) 耐震診断 木造住宅41戸 耐震補強工事等 12戸</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 事業完了</li> <li>(2) 測量調査設計、不動産鑑定業務完了 用地取得実施中</li> <li>(3) 下流工区工事施工中、上流工区は治水計画委託継続 「信濃川水系上小圏域河川整備計画」に掲載済</li> <li>(4) 千曲川河川事務所において築堤工事及び樋門工事を施工中</li> <li>(5) 耐震診断 木造住宅50戸 耐震補強工事等 14戸</li> </ul>		
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題				

令和5年度 重点目標管理シート

重点目標	安全で快適な都市環境の整備		部局名	都市建設部	優先順位	3位																	
総合計画における位置付け	第2編 自然・生活環境 【安全・安心な快適環境のまちづくり】 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第3節 安全・安心に暮らせる環境の整備		上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	4 日本を代表する循環型社会をつくる ●温室効果ガスの排出削減と再生可能エネルギー活用を一層推進し、施設周辺のモデルを起点にゼロカーボンシティ上田をめざす ●地域経済を循環させ、民間協働で中心市街地の活性化																			
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 ア ICTの活用による行政サービスの向上と業務の効率化 ウ 市民への説明責任を果たす的確かつ積極的な情報発信																						
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少子高齢化等の影響により、上田市内にも適正に管理されていない空家等が多数存在していることから、この対策や活用策等が求められています。</li> <li>・ 地域の活性化につなげるため、空き家の有効活用による移住定住の促進に向けた「空き家バンク制度」、また、市営住宅の老朽化が進んでいるため、「上田市市営住宅等長寿命化計画」に沿った整備の推進が必要です。</li> <li>・ 現在の上田市都市計画マスタープランは基準年次を平成22年、目標年次を令和12年に設定し、平成27年に策定しましたが、社会情勢の変化や関連計画及び制度の新設や変更などを踏まえて見直しをする必要があり、人口減少時代の適切な都市基盤整備と土地利用施策の具体的な実施が求められています。</li> <li>・ 現在の上田市立地適正化計画は基準年次を平成27年、目標年次を令和17年に設定し、平成31年に策定しましたが、概ね5年ごとの進捗確認と都市計画マスタープランに合わせた見直しが必要であるとともに、都市再生特別措置法の改正により防災指針を示すことが求められています。</li> <li>・ これまで実施していた「まちなかレンタサイクル」は対人による貸付事務等の課題と、必ず貸出場所に戻るため利用形態に限られていたことから、継続的な運営の確立と利用者の利便性を高める対策を検討する必要があります。</li> <li>・ 上田城大手門に通じる新参町線は、観光客のメインルートであるほか市役所前のシンボルロードであることから、城下町らしい風格あるまちなみを創出する必要があります。</li> </ul>																						
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き家の発生抑制、適正な管理の推進、利活用の促進、管理不全な空家の解消（解体）等を行うことにより、周辺住民の安全安心な暮らしの確保と住環境の改善を図るとともに、「空き家バンク」利活用の推進により地域の活性化につなげます。</li> <li>・ 上田市都市計画マスタープランと立地適正化計画を改定し、将来に向けた具体的な対策の立案と実施により、都市機能の質的な充実、安全で安心な都市の形成及び自然環境の保全などを重視する、拠点集約型のまちづくりを目指します。</li> <li>・ シェアサイクルの社会実験により、街なかや観光地等の回遊性の向上や新たな移動形態を検証し、本格導入を検討します。</li> <li>・ 新参町線の無電柱化と歩道的美装化により、防災性・安全性・快適性及び城下町の景観形成の向上を図ります。</li> </ul>		該当するSDGsの目標																				
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）																		
①	○ 老朽空家等の解消及び空家利活用に向けた各種施策展開 (1) 老朽危険空家の解体促進と跡地利活用 (2) 空き家バンクの利用拡大  (3) 上田市市営住宅等長寿命化計画に沿った住環境整備	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月  (3) 4月～3月	(1) 老朽危険空家解体補助件数…18件 (2) 物件登録20件以上 利用希望者登録数…110件以上 (3) ・屋根及び外壁改修 千曲町団地3棟、中丸子団地2棟 ・市営住宅の統合建替を検討 上田原第一団地及び第二団地	(1) 補助金要件に該当する空家26件中、補助金交付決定済18件。残り8件は9月補正予算で対応（9月末現在） (2) 物件登録18件。利用希望者登録数80件（9月末現在） (3) 両団地とも11月末に工事が完了する予定 <table border="1" data-bbox="1513 1008 1929 1092"> <tr><th>団地名</th><th>契約期間</th><th>契約金額(千円)</th></tr> <tr><td>千曲町団地</td><td>R5.6/6～11/28</td><td>63,646</td></tr> <tr><td>中丸子団地</td><td>R5.6/5～11/28</td><td>36,190</td></tr> </table> ・ 建替方法の選択肢のひとつとして、県との協働建替事業について検討するため、打合せ会議を実施	団地名	契約期間	契約金額(千円)	千曲町団地	R5.6/6～11/28	63,646	中丸子団地	R5.6/5～11/28	36,190	(1) 老朽危険空家解体補助26件 (2) 物件登録35件。利用希望者登録数157件 (3) 両団地とも工事が完了 <table border="1" data-bbox="2107 1008 2671 1092"> <tr><th>団地名</th><th>契約期間</th><th>契約金額(千円)</th></tr> <tr><td>千曲町団地</td><td>R5.6/6～11/28</td><td>63,646</td></tr> <tr><td>中丸子団地</td><td>R5.6/5～11/28</td><td>37,213</td></tr> </table> ・ 建替方法の選択肢のひとつとして、県との協働建替事業について検討するため打合せ会議を実施	団地名	契約期間	契約金額(千円)	千曲町団地	R5.6/6～11/28	63,646	中丸子団地	R5.6/5～11/28	37,213
団地名	契約期間	契約金額(千円)																					
千曲町団地	R5.6/6～11/28	63,646																					
中丸子団地	R5.6/5～11/28	36,190																					
団地名	契約期間	契約金額(千円)																					
千曲町団地	R5.6/6～11/28	63,646																					
中丸子団地	R5.6/5～11/28	37,213																					
②	○ まちづくり方針の検討・策定（R4年度～R5年度） (1) 上田市都市計画マスタープランの改定 (2) 上田市立地適正化計画の改定	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 上田市都市計画マスタープラン及び上田市立地適正化計画の方針・内容について協議・検討・調整を進め改定する。	(1) 関係団体との懇談会の実施 大学生との懇談会の実施 市関係部局との調整 計画素案の作成 9月都市計画審議会に2回目の中間報告	(1) 令和6年3月、上田市都市計画マスタープラン及び上田市立地適正化計画を改定。「ネットワーク+多極・拠点集約型都市構造」の形成を目指す計画とした。																		
③	○ 街なかや観光地等の回遊性の向上や長野県ゼロカーボン戦略の実現に向け、新たなモビリティのあり方や官民連携による事業化の検証 (1) 上田市・千曲市広域シェアサイクル社会実験の継続（R3～R5）	(1) 4月～3月	(1) 社会実験継続（3年目最終年度） 目標貸出回数：7,200回 サイクルポート増設 R4：11箇所 → R5：14箇所 電動アシスト自転車 45台 実施期間：4月1日～12月17日 本格導入の実現性と課題の検証	(1) 4月1日より開始。9月までの利用回数6,518回/183日（目標7,200回/261日の91%達成。昨年実績4,754回/171日） サイクルポートの利用状況の把握と利用促進、利便性向上に向けた改善策の実施	(1) 利用回数：9,755回/261日（37.4回/日は昨年比1.34倍の増） R5年度のサイクルポート数は最終的に16箇所としたが、3年間の社会実験の実績を踏まえて、R6年度からの社会実装につなげる。 公共交通の利用促進と滞在時間の増加、消費行動の促進、CO2排出量の削減に一定の効果があった。																		
④	○ 防災性及び快適性の向上 (1) 新参町線無電柱化事業の推進  (2) 県事業の北天神町古吉町線、国道141号、(主)長野上田線無電柱化事業整備推進への協力	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 工事L=60m (年度内進捗率 720/720m 100%) (2) 県の事業進捗に協力する。	(1) 工事L=64mを発注済、施工中  (2) 県の事業推進に協力し、御所工区は、拡幅及び無電柱化工事を実施中。川辺町工区は、都市計画変更の手続きに着手	(1) 繰越しにより、引き続き工事を施工中  (2) 事業推進に協力し、道路拡幅、無電柱化工事を施工中 川辺町工区は都市計画変更の手続き完了（11/27）																		
⑤																							
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題																			

令和5年度 重点目標管理シート

重点目標	交通まちづくりの推進と公共交通の維持確保		部局名	都市建設部	優先順位	4位
総合計画における位置付け	第2編 自然・生活環境【安全・安心な快適環境のまちづくり】 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第2節 「乗って残す」「乗って生かす」を基本とした公共交通の活性化		上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	○緊急 新型コロナ対策と即効性のある社会経済対策 3 福祉を充実し、多様性を尊重した地域共生社会を実現する 5 DXやGX等の革新的技術でSDGsを推進、人と自然が調和した活力あるまちをつくる		
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	—					
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モータリゼーション及び人口減少の進行に伴い、公共交通利用者は減少傾向にあり、交通事業者の収益悪化は深刻な状況であり、人口減少による将来的なさらなる利用者減少が懸念されるとともに、コロナ禍前の輸送人員までの回復は見込まないという点も危惧され、また、交通事業における運転手不足と高齢化により、公共交通の維持・確保が極めて困難な状況にあります。</li> <li>・高齢ドライバーによる重大事故が多発し社会問題となっている中、運転免許証の返納者数が増加しており、地域での支え合いを含めた高齢者の移動手段の確保が大きな課題となっています。</li> <li>・高校生の約半数が家族送迎により通学しており、送迎に係る負担増加や渋滞発生などの課題が発生しています。</li> <li>・分かりやすく、使いやすい公共交通とするため、利便性向上のためのキャッシュレス化の推進やオープン化したデータによる情報提供など、上田市スマートシティ化推進計画に基づくデジタル化の取組を進める必要があります。</li> </ul>					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動手段の確保を図り、移動サービスの品質を向上させることにより、市民の暮らしをより便利に快適にします。</li> <li>・高齢者の外出促進による健康増進・医療費軽減、通学費等の負担軽減、交通渋滞解消、ゼロカーボンの推進、文化的価値の維持(別所線)の効果、また、モビリティマネジメントの推進、地域活性化(まちの賑わい創出)、都市間連携の強化の効果が現れるよう取組を進めます。</li> </ul>		該当するSDGsの目標	  		
取組項目及び方法・手段(何をどのように)	期間・期限(いつ・いつまでに)	数値目標(どの水準まで)	中間報告(目標に対する進捗状況・進捗度)及び(中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点)	期末報告(目標に対する達成状況・達成度)		
① 上田市地域公共交通計画の策定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事業者、庁内関係課による計画内容(公共交通体系の構築)の検討</li> <li>・上田市公共交通活性化協議会や地域協議会における協議</li> <li>・長野県地域公共交通計画との調整、整合</li> <li>・交通有識者、モビリティアドバイザーによる助言</li> </ul>	05月: 計画骨子案作成 07月: 住民説明会  09月: パブコメ  12月: 議会報告	12月末: 計画策定・公表	05月: 関係団体との情報交換会、交通有識者による助言 06月: 活性化協議会における骨子案提示 モビリティアドバイザーによる助言 07月: 交通事業者を含めたWG会議による内容の協議 09月: 活性化協議会における素案提示 都市計画審議会、地域協議会等での説明 パブリックコメントの実施	11月: 長野県地域公共交通計画との調整、統合 12月: 上田市公共交通活性化協議会における最終計画案の確定 上田市議会への説明 部長会議における協議 公表		
② 公共交通の確保維持に向けた安全対策事業と利用促進事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 別所線の安全対策事業と利用促進事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・R5事業の着実な推進、R6以降の橋脚補強計画の検討</li> <li>・日本遺産、シェアサイクルとの連携事業の推進、活性化イベントの実施</li> </ul> </li> <li>(2) 路線バス、循環バス等の利用促進と再編検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・上田地域公共交通連携会議における協議</li> <li>・交通事業者や他分野を交えたプラットフォームによる協調・共創の取組の検討</li> <li>・モビリティアドバイザーの活用</li> </ul> </li> <li>(3) 丸子デマンド交通システムの導入(丸子地域)</li> <li>(4) 高齢者、障がい者、妊産婦などの移動弱者に対応したタクシー事業の再編検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・運転免許証自主返納促進事業(タクシー利用補助券交付)におけるQRコード券導入の検討</li> <li>・定額制タクシーなどの調査研究</li> </ul> </li> </ul>	(1) 年度末: 安全対策事業完了、活性化イベントの完了  (2) 年度末: 再編案のまとめ  (3) 年度末: 運行開始、事業の検証  (4) 年度末: 再編案、調査研究のまとめ	(1) 年度末: 安全対策事業進捗100% ○ 別所線輸送人員103.9万人の確保 01年度: 111.6万人 02年度: 63.8万人 03年度: 87.9万人 04年度: 97.2万人 (2) 運賃低減バス事業96.3万人の確保 実証前: 99.5万人(24.10-25.9) 01年度: 114.4万人 02年度: 75.3万人 03年度: 84.5万人 04年度: 90.2万人 (4) タクシー利用券交付者数400人 ○ タクシー券交付決定者/タクシー会社補助額 01年度: 452人/1,284千円 02年度: 376人/1,083千円 03年度: 393人/1,329千円 04年度: 392人/2,101千円	(1) 04/28 別所線活性化協議会(R5国補助計画) ・06年度以降の計画協議 ・TicketQRによるイベント時の無料乗車DAY ・別所線沿線へのシェアサイクルポートの増設 (2) 04/29,30 商業施設でのバス利用促進イベント開催 ・07/21~08/24 TicketQRを活用したキッズバス事業 ・08/17 交通事業者と市長との懇談会開催 ・06/28,07/25,09/13 県公共交通活性化協議会(バス部会、地域別部会、全体会)における広域的な視点による連携強化 (3) 運行方法についての協議及び検討 ・06/07 上田市公共交通活性化協議会において、丸子地域循環バスの廃止及びデマンド交通の運行開始が承認 ・10/02 運行開始 (4) 丸子デマンド交通運行開始に伴う要綱改正 ・タクシー利用補助券申請者に対する免許返納後の移動手段に係る状況調査開始	(1) 輸送人員: 104.6万人 ・05年度安全対策事業の実施 ・シェアサイクル事業との連携 ・イベント開催に伴うTicketQR利用による無料day実施 ・脱炭素先行地域としての利用促進策及び利便性向上策の検討 ・06年度以降の橋脚補強計画の協議 (2) 輸送人員: 94.3万人 ・保育園でのバスの乗り方教室の開催 ・運転手不足及び労働時間の上限規制に伴うバス減便への対応 ・運転手確保策の実施に向けた関係者との意見交換 ・「運転体験ができる会社説明会」の開催 (3) 事業の実績 会員登録者数: 513人、利用者数(1日平均): 18人 (4) タクシー券交付決定者数: 380人 タクシー会社補助金額: 1,790千円 ・出前講座におけるバスの乗り方教室の開催 ・地域が主体となった移動の確保策との課題共有		
③ DX及びGXの推進による公共交通の利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) QRコード決済実証事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用拡大に向けた普及啓発</li> <li>・利便性向上のための事業スキームの検討</li> <li>・シェアサイクル事業との連携</li> </ul> </li> <li>(2) 公共交通情報オープンデータ化の推進</li> <li>(3) AI型デマンド交通や自動運転(EV車両)などの導入に向けた調査研究</li> </ul>	(1) 04~03月: 利用促進策の展開 03月: 効果検証 (2) 10月: バス情報のオープンデータ化 (3) 年度末: 調査研究のまとめ	(1) 年度末: 社会実装への移行 QR利用率: 20% (2) 年度末: オープンデータ化 データ整備率: 80% (3) 年度末: 調査研究まとめ	(1) QRコード決済利用率: 16.7%(R5.8月末) ・04/29~30,09/09 イベントでのTicketQR普及啓発 ・QRコード共通化、利便性向上に向け、事業スキームについて交通事業者との協議 ・ドコモバイクシェアとのシステム連携 (2) 県主催の講習会への参加 (3) 民間による自動運転実証実験に対する包括的な支援 ・スマートモビリティチャレンジ推進協議会への加入 ・先進地視察の実施(茨城県境町)	(1) QRコード決済利用率: 17.0% ・利用拡大に向けた普及啓発 ・QRコード共通化、利便性向上に向け、事業スキームについて交通事業者との協議 ・消費喚起応援事業への活用による普及促進 (2) 国、県主催の講習会、データ活用研修会への参加 データ整備率: 40.1% (3) 民間事業者における通勤時のマイカー移動から公共交通利用への転換促進に係る検討 ・先進地視察の実施(塩尻市、静岡市、御殿場市)		
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		○取組による効果・残された課題			

令和5年度 重点目標管理シート

重点目標	緑豊かな健幸都市空間の創出		部局名	都市建設部	優先順位	5位	
総合計画における位置付け	第2編 自然・生活環境 【安全・安心な快適環境のまちづくり】 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第4節 緑豊かな魅力ある都市環境の創出		上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	2 教育・子育ての環境・文化の充実を促進する ●安心して結婚・出産・子育てができる上田市をつくるために ●上田城復元的整備、日本遺産活用、サントミュージアム活用			
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 イ 多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり (2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 エ 公共施設マネジメントの推進						
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市公園等には経年による老朽化が進む公園施設が見られます。</li> <li>・子供たちが公園を安全に安心して利用できるよう、施設の改築・更新と適切な維持管理を行うことが求められています。</li> <li>・景観計画や屋外広告物条例の適切な運用に加え、地域資源を生かした景観まちづくりが求められています。</li> <li>・人口減少・少子高齢化が進行するなか、花と緑のまちづくりにおける市民や事業者の活動参加、都市緑化への意識を高めていく検討が必要です。</li> </ul>						
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的町並みや文化財などの景観を維持向上させることで、上田らしい魅力ある景観形成が図られます。</li> <li>・公園施設長寿命化計画に基づき、都市公園の整備や遊具の改築・更新などを行い、安全・安心な公園を目指します。</li> <li>・身近にある公園を整備し、子育て世代が安全・安心に利用できる公園整備を進め、楽しめる公園づくりを目指します。</li> <li>・自治会などへの花苗配布を通して「市民主体の花のあるまちづくり」が促進されます。</li> </ul>			該当するSDGsの目標	   		
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告 （目標に対する進捗状況・進捗度）及び （中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
① ○ 景観まちづくり、歴史まちづくりの推進 (1) 史跡上田城跡整備事業（武者溜り整備）の推進 (2) 歴史的風致維持向上計画の事業の推進	(1) 4月～3月 (2) 5月	(1) 武者溜り基本計画策定、旧市民会館解体実施設計の実施 (2) 景観ウォッチングの開催	(1) ・武者溜り基本計画は令和5年度末策定に向け、協議中。旧市民会館解体実施設計は10月以降実施予定 (2) 武石地域の歴史的風致をテーマとした景観ウォッチングを開催（5/20：参加者9人）		(1) 武者溜り基本計画は年度内策定。旧市民会館解体実施設計完了。 (2) 5月の開催に加え、11月にも丸子地域の歴史的風致をテーマとした景観ウォッチングを開催した。（11/12：参加者11人）		
② ○ 公園施設長寿命化計画に基づく施設の改築・更新事業の推進	(1) 4月～3月	(1) 上田城跡公園等5公園の施設の改築・更新及び公園施設の適正な維持管理	(1) 計画公園5公園（8発注）はすべて契約済み。追加で計画した1公園も11月発注予定		(1) 計画公園6公園（9発注）について、3月末までにすべて事業完了。このほか公園施設について維持管理を適正に行った。		
③ ○ 子育て支援・身近な公園改築・更新事業の推進	(1) 4月～3月	(1) 塩川ポケットパーク等4公園の施設の改築・更新	(1) 計画公園6公園（2公園追加）の事業計画の国承認が9月に完了したため、発注手続きを進め、11月までの発注予定		(1) 計画公園7公園（1公園追加）について、3月末までにすべて事業完了。		
④ ○ 景観・緑化に対する市民意識の高揚の促進 (1) 花と緑のまちづくりへの関心を高めるため、「景観・花と緑 まちづくりフォーラム」を開催する。 (2) 花苗配布により自治会等の花壇づくり活動を支援し、潤いのある花と緑のまちづくりを推進	(1) 11月 (2) 4月～11月	(1) 「景観・花と緑 まちづくりフォーラム」の開催 (2) 花苗の配布 自治会等の団体：春、秋 中心商店街：春、秋	(1) フォーラムの開催に向けた講師との打ち合わせ、広報用チラシ・ポスターの印刷を完了（9月） (2) 自治会等の地域の団体への花苗(70,560本)配布（6月） 中心商店街への花苗(952本)配布（6月）		(1) 景観・花と緑 まちづくりフォーラムにおいて花と緑のまちづくりコンクールの表彰式と都市緑化に関する講演会を実施し、都市緑化活動を啓発。（11/23：参加者約130人） (2) 自治会等の団体への花苗配布：春 70,560本、秋 50,990本 中心商店街への花苗配布：春 952本、秋952本 配布先の潤いあるまちづくりを推進するとともに、花の水やりなど維持管理に対し積極的な地域活動があった。		
⑤ ○ かわまちづくり支援事業 (1) 管理棟建築工事、駐車場整備、占用申請他	(1) 4月～3月	(1) 工事発注 （進捗率00%）	(1) 他工事と調整中により未発注		(1) 他工事との調整が終了し工事発注 （進捗率100%）		
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		○取組による効果・残された課題				